



## 新年の御挨拶

静岡県中小企業団体中央会  
会長 山内 致雄

明けましておめでとうございます。

本会会員並びに関係機関の皆様にかかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、年が明け令和5年を迎えましたが、この令和の時代に日本を含め、世界は大きく変化したということを今改めて実感しております。例えば、非接触によるコロナウイルス感染防止対策はデジタル化を急激に加速させました。

また、サステナブルな社会に対する意識の高まりから、SDGsをはじめとした取り組みも注目されており、企業経営は社会的責任を果たす活動にも当事者意識をもって取り組んでいくことが求められております。

近年ではロシア軍によるウクライナ侵攻に起因する物流の分断や鈍化が発生し、事業活動の大きな障害となるだけでなく、記録的な物価上昇を招く事態となりました。

このように依然として厳しい状況が続いておりますが、一方で、時代の変化をビジネスチャンスと捉え、積極的に事業再構築を図る企業は少なくありません。過去の成功体験から抜け出せず「株を守りて兎を待つ」ことなく、大きな変化の時だからこそ、企業の在り方を見直し前進していく姿勢が、これからの企業に必要なマインドであると考えます。

新たな事業の展開や創出は、決して容易なことではありません。だからこそ、企業間連携による協働の力を今一度見直すことが必要であります。昨年開催しました本会主催の静岡県大会では、中小企業にとって重要な経営資源である組合を活用することで、組合と組合員の夢の実現に向け成果をあげた組合関係者にお集まりいただき、成功事例をご紹介しました。企業が新たな挑戦をするために企業間連携は有効であり、そうした意味で本年は中小企業組合の存在価値が問われる1年であるとも言えます。

中小企業がこの大きな時代の節目に於いて、様々な課題を解決し逆境に打ち勝つためには、成長や向上、飛躍を表す「癸卯」の文字の如く、ただ現状に身を委ねることなく、企業努力を続ける必要があります。

私共中央会といたしましては、中小企業を強力に支援するため、組合を軸とした数多くの支援事業を展開しておりますので、会員組合並びに組合員企業の皆様には、本会の支援事業を積極的にご利用いただければ幸甚であります。

本年の干支は「癸卯」であります。「癸」という文字には「新たな生命が成長する状態」という意味があり、「卯」は「茂」という字が由来とされることから、「春が訪れ、草花が生い茂る」という意味があります。また、動物の兎が飛び跳ねる様子から「飛躍」や「向上」も連想され、今年は「努力が実を結び、飛躍する1年」とされています。

その期待を胸に、中央会役職員一同、会員組合並びに組合員企業の皆様の支援に邁進していくこととお誓い申し上げますと共に、日本経済を覆う先行きの不透明感が必ずや払拭され、希望の光が差し込むことにより、皆様にとりまして大いなる飛躍の年となりますよう心よりご祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和五年元旦

静岡県中小企業団体中央会  
会長 山内致雄